



外来担当医表

受付
8:00~11:30
診察
8:45~

		月	火	水	木	金	土 (第2,4)
内 科 循 環 器 科	午前	伊藤 大 (糖尿病・内分泌)	大西 裕大 (糖尿病・内分泌)	伊藤 大 (糖尿病・内分泌)	千田 金吾 (呼吸器)	田熊 翔 (呼吸器)	長谷川 潤 (呼吸器)
		源馬 理恵子* (糖尿病・内分泌)	藤倉 知行 (腎臓)	澤田 健 (糖尿病・内分泌)	源馬 理恵子* (糖尿病・内分泌)	澤田 健 (糖尿病・内分泌)	第2 大西 裕大 (糖尿病・内分泌)
		沖 隆 (内分泌・糖尿病)	-	八木 文子* (呼吸器) 第1週休診	大西 裕大 (糖尿病・内分泌)	大西 裕大 (糖尿病・内分泌)	-
		竹内 和彦 (地域ケア・老年内科)	-	長谷川 潤 (呼吸器) 第1週のみ	-	竹内 和彦 (地域ケア・老年内科)	-
		-	-	-	沖 隆 (内分泌・糖尿病)	沖 隆 (内分泌・糖尿病)	-
		杉山 壮 (循環器科)	杉山 壮 (循環器科)	玉嶋 林太郎 (内科・循環器科)	玉嶋 林太郎 (内科・循環器科)	杉山 壮 (循環器科) ~15:30	杉山 壮 (循環器科)
(予約制) 診察 13:00~16:30	午後	-	小野 孝明 (血液)	-	-	-	
受付 16:30~18:45 診察 17:00~	夕方	-	-	澤田 健 (糖尿病・内分泌)	松下 明生 (内分泌)	-	
				伊藤 大 (糖尿病・内分泌)			
神 経 内 科	午前	-	名倉 博史	-	-	-	
消 化 器 科	午前	松田 純一	清水 雄嗣	伊藤 達弘	松田 純一 横井 佳博	横井 佳博	松田 純一
外 科	午前						
整 形 外 科	午前	榎間 真二	榎間 真二	榎間 真二	榎間 真二	-	-
		-	山田 浩輔	-	山田 浩輔	山田 浩輔	山田 浩輔
		清水 雄太	-	柳川 博	-	素村 健司	舟越 龍也
脳 神 経 外 科	午前	小松 裕明	牧野 一重	牧野 一重	小松 裕明	小松 裕明	小松 裕明
眼 科		高山 理和	佐治 麻奈*	佐治 麻奈*	佐治 麻奈*	佐治 麻奈*	-
皮 膚 科	午前	近藤 俊平	-	島内 隆寿	-	-	交替制
泌 尿 器 科		-	麦谷 荘一 受付11:00~14:30	-	-	-	交替制
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	-
放 射 線 科	午前	○	○	○	○	○	○

* = 女医

... 各種ご案内 ...

【糖尿病教室のご案内】

第4回 9月17日(水) 15時から2部制

第1部 眼科 視能訓練士

『糖尿病と眼科 ~定期的に眼底チェックを~』

第2部 内科 看護師

『生活のなかでの注意点

~旅行も災害対策も事前の準備が必要です~』

持ち物: 筆記用具、糖尿病手帳(お持ちの方)

※水分補給ができるものをお持ちください。

※マスクの着用をお願いいたします。

どなたでも参加ができますのでご希望の方は、
内科外来にお声がけください。



... 診療情報(9月) ...

【内科】

伊藤 29日(月) 休診

【消化器科】

横井 11日(木) 休診

横井 12日(金) 休診(代診: 松田)

【脳神経外科】

小松 25日(木) 休診

小松 26日(金) 休診

【整形外科】

素村 12日(金) 休診

榎間 16~18日 休診

◇ 浜松市医師会夜間救急室 ◇

浜松市中央区伝馬町311-2

電話: 053-455-0099

〈毎日〉 内科 20:00~翌朝7:00

小児科/外科 20:00~深夜0:00

〈土〉 内科/外科 14:00~18:00

医療法人社団 盛翔会

浜松北病院

☎ (053) 435-1111

※携帯電話・スマートフォンからのお電話は、
市外局番も忘れずにダイヤルしてください。

		月	火	水	木	金	土 (第2,4)
歯科口腔外科		歯科口腔外科は、初診でも予約可能です。 歯科口腔外科 053(435)1110					
月~金	受付 8:00~17:00 診察 8:30~17:30	山田 耕太郎	山田 耕太郎 (~17:00)	-	山田 耕太郎	山田 耕太郎	山田 耕太郎 (~11:30)
土	受付 8:00~11:30 診察 8:30~12:00	松本 圭司	松本 圭司	松本 圭司	松本 圭司 (~17:00)	-	松本 圭司 (~11:30)
		藤原 真愛* (午前のみ)	-	-	-	-	-

昼休憩なし



ホームページは
こちら

熱中症の症状

•めまい

•立ちくらみ

•生あくび



•大量の発汗

•筋肉痛

•筋肉のこむら返り

病状がすすむと

•頭痛

•嘔吐

•倦怠感



•判断力低下

•集中力低下

•虚脱感

応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら（主な応急処置）

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



衣服をゆるめ、からだを冷やす
(首の周り、脇の下、脚の付け根など)



経口補水液を補給*



※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう!

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、エアコン等を使って温度調節するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要!

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているので、注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。また、障害のある方には、体温調節が難しい場合や、のどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう。